

きらきら星

市立旭川病院だより



アミメキリンの結^{ゆい}と子ども



シロフクロウ



ホッキョクギツネ

(写真提供：旭川市旭山動物園)

目次	開院 90 周年記念特集テレビ放送から	2
	小中学校のみなさまから応援メッセージをいただきました	4
	在宅医療・介護ガイドブック【ケアマネジャー（介護支援専門員）】	4
	旭川市内の地域包括支援センター	6
	「腎臓内科」を開設しました	6
	医療福祉相談、退院支援、がん相談支援センターの移動について	6
	市立旭川病院 IBDセンターについて	7
	心不全になりはじめのサインとは	8

きらきら星について

市立病院があるのは金星町。
金星はヴィーナス（美の女神）です。皆さんに
きらきら輝いてほしいとの願いを込めました。

開院 90 周年記念特集テレビ放送から

市立旭川病院は、令和2年（2020年）4月15日に開院90年を迎えました。そこで令和2年度は記念のイベント等を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により思うように実施できませんでした。

このような中、地元のケーブルテレビ「ポテト」の番組で、昨年12月に市立旭川病院を紹介していただきました。病院の歴史と90周年のいま新たに取り組んだ内容の紹介です。今回は、そのテレビ放送の内容を紙面でお伝えします。

1 病院の歴史

市立旭川病院は、今から90年前の1930年に旭川市立診療所として開設されました。診療科は内科と外科の2科のみで医師が3名。当時8条通7丁目にあった旭川衛生参考館内に間借りしての開所でした。

1993年から再度の病院改築が行われ、2000年に現在の姿になりました。

開設当時から、「経済的な事情に関わりなく全ての市民が最先端の医療を受けることのできる医療機関の設立」を目的としており、この志は現在も職員に受け継がれています。「患者さん中心の医療」を基本理念に、道北の基幹病院のひとつとして、良質で安全な医療サービスの提供を目標に努力を続けています。

市立旭川病院は、今回の新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、感染症指定医療機関として、発熱のある患者さんの診療や入院対応を行っています。今後とも、最先端の医療を提供できる道北の基幹病院かつ「最後の砦の病院」として、市民や地域住民の皆様からの信頼を得るべく、また、公的病院としての責務を継続的・発展的に果たすべく、職員一同努力してまいります。

2 新たな取組

【その1】スマホ決済

2020年5月から、診療費の支払いにスマートフォンアプリによる決済サービスを取り入れました。これは北海道内の公立病院では初めて、旭川市内の基幹病院でも初めての導入です。新型コロナウイルス感染症が心配な現在、現金の受け渡しがなく安心な非接触型のお支払い方法です。

利用できるアプリは、PayPay、d払い、au PAY、LINE Pay、メルペイ、WeChat Pay（ウィチャットペイ）、ALIPAY（アリペイ）の7種類です。

皆様のご使用をお待ちしております。



【その2】YouTube、Facebook

市立旭川病院の公式YouTubeとFacebookを開設しました。Facebookでは、アトリウム展示イベントの紹介や管理栄養士が考案したレシピを紹介しています。YouTubeでは市民公開講座をオンライン形式で配信したり、理学療法士が教える自宅でできる運動など健康に関するお役立ち情報を発信しています。

【その3】産後ケアのリニューアル

市立旭川病院では、産後1年未満のお母さん、お子さんを対象に産後ケアを実施しています。令和2年11月の分娩再開に合わせて実施場所をリニューアルしました。

産後ケアでは、お母さんのからの休息や心のケア、授乳や沐浴などの育児についての相談などを行っています。産後のお母さんの様々な相談ごとに丁寧に対応し支援いたします。



【その4】オリジナルピンバッジ

開院90周年を記念してオリジナルピンバッジを作成しました。旭川市のシンボルキャラクターでおなじみのあさっぴーが医師、ゆっきりんが看護師の姿に変身しています。90周年記念企画が中止や延期となる中でも、感謝の気持ちをかたちとして残したいという思いから、市内のデザイナー ナカジマヨシカ様にご協力をいただきました。

今後とも公的病院、市民を守る「最後の砦病院」としてがんばってまいります。これからも市立旭川病院をよろしく願います。



わくわくライフ旭川 市立旭川病院の紹介(令和2年12月5日放送)
制作・著作 旭川ケーブルテレビ株式会社

この「市立旭川病院の紹介」は、当院の公式YouTubeチャンネルでご覧いただけます。

市立旭川病院公式SNSのご案内



【市立旭川病院公式YouTubeチャンネル URL】

https://www.youtube.com/channel/UCGmCBNNKqT7xaGeg_T11viA

二次元コードからご覧いただけます



【市立旭川病院公式Facebookチャンネル URL】

<https://www.facebook.com/AsahikawaCityHospital/>

二次元コードからご覧いただけます



小中学生のみなさまから 応援メッセージをいただきました

市立旭川病院に、たくさんのメッセージが届いています。励まされて前に進む力が湧いてきます。ありがとうございます。

「今はたいへんですが、コロナに負けないでがんばってください。」

「いつも危険な状態で仕事をして下さってありがとうございます！今、とても大変だけれどお体に気を付けて下さい！応援しています」

「見えない敵と戦いながら懸命に働いて下さり本当にありがとうございます。そして皆様を支えているご家族にも心より感謝申し上げます。」

「新型コロナウイルスの影響でお仕事がとても忙しく大変だと思います。私も楽しみにしていた行事の縮小、延期など悲しかったことがたくさんありました。でも必ず「コロナが終息している明るい未来がやってくる」と信じて一緒に頑張っていきましょう。」
(経営管理課)



在宅医療・介護ガイドブックについて →

旭川市・旭川市医師会は、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、在宅で受けられる医療や介護のサービスを紹介して理解を深めていただくために、「在宅医療・介護ガイドブック～住み慣れた地域でいつまでも～」を発行しています。今回は、このガイドブックの中から「ケアマネジャー（介護支援専門員）」について説明している部分をご紹介します。

市立旭川病院も医療と介護の連携事業に協力しており、このガイドブックの配付にも携わっています。ご希望の方にはお渡しできるように正面玄関の棚に配置していますので、お手にとってご覧ください。

(地域医療連携課)



ケアマネジャー(介護支援専門員)

介護保険のサービスを利用する方などからの相談に応じ、利用者の希望や心身の状態などを考慮して、適切な居宅又は施設のサービスが利用できるように市町村、居宅介護サービス事業所、介護保険施設、医療機関などとの連絡調整を行うのが、ケアマネジャーです。



要介護等の認定を受けた方が、在宅で介護保険サービスを利用するには、居宅サービス計画（ケアプラン）等が必要となり、そのケアプランの作成のお手伝いをを行います。

ケアマネジャーは、サービスを利用する方が自立した日常生活を営むために必要な援助が得られるための介護の知識・技術を持った専門職です。

様々な心配ごと、分かりにくいこと、介護保険のサービスの利用手順など、お気軽にご相談ください。

Qケアプランの作成をお願いしたいのですが、ケアマネジャーはどこにいるのですか？

Aケアマネジャーは、居宅介護支援事業所に所属しています。要介護1～5の認定を受けている方で、ケアプランの作成を依頼したい場合は、居宅介護支援事業所にご連絡ください。

どの居宅介護支援事業所に連絡したらよいか分からないときは、地域包括支援センター（次ページ参照）にご相談ください。

※居宅介護支援事業所は、市内に約130か所あり、旭川市のホームページに一覧が掲載されています。

介護保険の施設・事業所一覧 [検索](#)



ケアマネジャーを利用した人の声

急に寝たきりとなった母の介護をどうしようかと迷っていたときに、地域包括支援センターに相談したところ、すぐにケアマネジャーさんを紹介していただきました。

最初は何をする方なのかがよく分かりませんでした。退院に向けた自宅環境の整備やデイサービス、訪問看護の利用などについて、必要なことを一緒に考えてくれる中心的存在だということを知りました。

介護サービスの問題だけでなく、医療のこと、お金の管理のことなど、将来的なことまで様々な相談をさせていただいておりますが、そのたびに的確な助言と専門機関への橋渡しをいただいております。

母のことはもとより、今では父も相談にのってもらい、デイサービスに通い元気に体力づくりに励んでいます。また、両親を支えている私たち家族の辛さも理解してくれ、様々な面においてアドバイスをしてくれています。

ケアマネジャーさんとの出会いがなければ、もしかしたら今も何も分からず途方に暮れていたかもしれません。介護や福祉の専門家として、とても頼りになる存在です。

前ページ中央枠内に記載された旭川市内の「地域包括支援センター」は次のとおりです。

名称	所在地	電話
中央 地域包括支援センター	旭川市1条通9丁目右7号 マルトクビル2階	23-6022
豊岡 地域包括支援センター	旭川市豊岡3条3丁目5番10号 東部まちづくりセンター内	35-2275
東旭川・千代田 地域包括支援センター	旭川市東旭川北1条6丁目2番3号 東旭川支所内	36-5577
東光 地域包括支援センター	旭川市東光5条2丁目2番6号 東部住民センター内	76-6020
新旭川・永山南 地域包括支援センター	旭川市永山2条5丁目44番地	40-3003
永山 地域包括支援センター	旭川市永山3条19丁目 永山市民交流センター内	40-2323
末広・東鷹栖 地域包括支援センター	旭川市東鷹栖4条3丁目 東鷹栖地域センター内	76-5065
春光・春光台 地域包括支援センター	旭川市春光5条4丁目1番16号 北部住民センター内	54-1165
北星・旭星 地域包括支援センター	旭川市川端町6条10丁目2番16号	46-6500
神居・江丹別 地域包括支援センター	旭川市神居2条10丁目3番8号	76-5511
神楽・西神楽 地域包括支援センター	旭川市緑が丘東3条1丁目10番30号 緑が丘地域活動センター内	66-5351

「腎臓内科」を開設しました。

当院では令和3年1月に「腎臓内科」を開設しました。腎臓内科では、蛋白尿、血尿が続く方、腎機能が低下した方、血圧のコントロールが十分ではない方を検査・治療します。気になる症状がある方は腎臓内科の受診をお勧めします。

当院では従来から泌尿器科を開設しておりましたが、腎臓内科も泌尿器科も、どちらも腎臓の病気を治療します。腎臓内科では腎炎などの主に内科的治療が必要な病気を担当し、泌尿器科では悪性腫瘍などの主に外科的治療が必要な病気を担当します。しかし実際には病気を区別することが難しい場合や、病気が重複している場合もあるため、腎臓内科と泌尿器科が連携して、最善の診断・治療を判断して提供します。



診療曜日

火・水・金

受付時間

8:00～11:00

診療医師

ふじのたかゆき
藤野 貴行

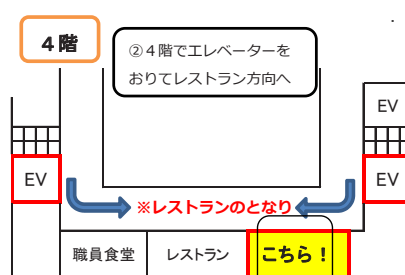
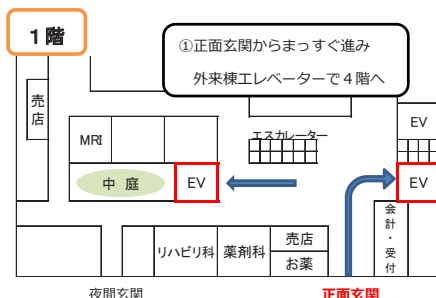
(お知らせ)

医療福祉相談、退院支援、がん相談支援センターの移動について

地域医療連携課の医療福祉相談、退院支援、がん相談支援センターの場所が入院病棟4階から外来棟4階に移動しました。医療福祉、入院や退院に関すること、困りごとなどがありましたらお気軽にご相談ください。

★相談を希望される方は、医師や看護師等にお申し出くださればその場にまいります。

★直接相談室までお越しいただいても結構です。



場所 市立旭川病院 外来棟4階
(レストランとなり)

電話 0166-24-3181 (代)

時間 午前8時30分～午後5時
(病院の外来休診日を除きます)

相談員 医療ソーシャルワーカー・看護師

市立旭川病院 IBDセンターについて

当院は、令和2年（2020年）4月に IBDセンターを組織して、炎症性腸疾患及び関連疾患に対する最新の診療・チーム医療・地域連携に取り組んでいます。

1 IBDとは

炎症性腸疾患(Inflammatory Bowel Disease; IBD) は主に潰瘍性大腸炎とクローン病を指し、いずれも厚生労働省の難病対策における「特定疾患」に指定されており、いまだに原因が完全には解明されていない病気です。

以前は、比較的まれな疾患と考えられていましたが、近年患者数が増加し、平成28年度の報告では潰瘍性大腸炎が約17万人、クローン病が約4万人と珍しい病気ではなくなってきています。

この病気は、比較的若年者に発症します。主な症状は、腹痛や下痢、血便であり、これらの症状の再燃と寛解を繰り返す例が多いことが特徴です。根本的な治療はなく、完治させることは困難ですが、近年様々な内科的治療が開発され、長期に寛解維持できる方が増えてきました。

2 IBDセンターとは

IBDの診療には様々な診療科が関与します。

IBD治療の基本は内科治療ですが、内科治療でも改善しない難治例や、大量下血、腸管穿孔、癌の合併がみられる例では外科治療が必要となります。また、前述のように若年者で発症しますので、小児で発症される方、これから妊娠を考えている方も多くおられ、小児科や産科婦人科との連携も必要になってきます。さらに、皮膚炎や関節炎といった腸管外合併症も少なくなく、皮膚科や膠原病内科をはじめ、感染症科、精神科などの先生とのチーム医療が不可欠です。

内科治療も多岐に渡るようになり、他科との連携の下に治療を行うケースが増えてきました。例えば、白血球除去療法を行う場合は透析センター、生物学的製剤の点滴加療を行う場合にはがん化学療法センターと連携して診療を行っています。

また、先に述べたように IBDは完治させることが困難であり、発症した場合は長く付き合っていく必要がある疾患です。そのため、日常生活や学業就労支援面においては看護部、栄養管理科、ソーシャルワーカーなど、他診療部門との共同体制も欠かせません。

そこで、多科、多職種との連携をより強固なものとし、より良い IBD診療を提供する為に設立されたのが IBDセンターです。

チーム医療でIBD診療を行う部門
それがIBDセンターです



※ホームページにはスタッフや治療内容についてより詳しく掲載しています。
「市立旭川病院」で検索、または、右のQRコードからアクセスできます。





認定看護師は、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる看護師を社会に送り出すことにより、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上を図ることを目的として公益社団法人日本看護協会により認定された看護師です。

心不全になりはじめるサインとは

慢性心不全看護認定看護師 辻 久美



～高齢者心不全 早期発見のために～

高齢者の心不全は症状がはっきり現れないことが多いです。症状があっても「年のせい」と思い込んで我慢して生活しているケースが少なくありません。病気が進行してからでは治療は難しくなるため、いかに早く見つけて、治療を始めるかがその後の人生を左右すると言われてしています。



●早期発見のためのポイント紹介

～むくみや体重増加も心不全の前触れです～

心臓の機能が落ちてくると血液の流れが悪くなります。そして体の全体に水が溜まりやすくなります。水分が体をめぐって腫れていく症状をむくみ＝「浮腫」と呼んでいます。体を起こしていると溜まった水は、下半身に移動するため通常は足に見られます。

心臓が原因の浮腫では、浮腫のある部分、例えばすねや足の甲を指で押さえるとそのまま凹み、圧痕が残るといった特徴がみられます。浮腫が進むと溜まった水分の分だけ体重も増加します。

特に理由がないのにむくみが出ることや沢山食べてないのに急激に体重が増えた場合、または「疲れやすい」「咳が出る」「食欲不振が続く」といった症状も心不全の危険なサインです。どれも一見、心臓とは関係ないように思えますがこうした症状も見逃さないようにしましょう。

心不全のなりはじめである初期症状に特に敏感であっていただきたいのが、心不全の原因となる病気を持っている場合です。心筋梗塞や弁膜症、不整脈をはじめとする全ての心臓病は、心不全の原因となります。また動脈硬化の危険因子として知られている高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満などの生活習慣病、喫煙、過度の飲酒、塩分摂り過ぎ、運動不足、過労、ストレスといったことも心不全を起こしやすい要因となります。高齢者では、こうした危険因子にいくつも該当する場合が多く、たとえ症状がなくても自分が心不全になりやすい予備群であることを自覚して生活するようにしましょう。



●心不全かもしれない判断のポイント

～いままでできていたことができなくなったら心不全を疑う～

歳をとると体力が衰えて坂を登っただけで「ゼイゼイ」「ハアハア」することがあります。このような変化は、急には起こりません。少し前はできていたことができなくなった、急に体力が落ちたと感じた場合、心臓に何らかの異常がある可能性があります。「少し歩いただけでも息が切れる」「重い荷物を持って歩けなくなった」など今までふつうにできていたことが大変と感じたら「老化」と片付けずに病院に相談しましょう。

